

技術概要一覽(1)

1. 令和元年度準推奨技術

HK-080011-VE

ドレスネット

(立入防止柵網・動物侵入防止網)

動物侵入対策において、長期間の侵入防止効果・施工性・経済性・安全性が向上した高耐久樹脂網。本技術の特徴は100%ポリエステル線を亀甲型に編織し弾性反力を発生する事から接地圧が大きく地盤変化に追従しアンカーピンを使用する事無く立入防止柵と地盤の隙間を長期間閉塞し侵入防止効果を高める事ができる。補修費用等も低減し、軽量で施工が容易で安全性も向上し工期短縮も実現した。

技術の適用範囲

- ・高速道路・高規格道路・空港等の動物侵入対策が必要な箇所
- ・立入防止柵等の腐食劣化が著しく維持管理上苦慮する箇所
- ・急傾斜地・狭小地・高所等で対策や作業が困難な箇所
- ・工期や交通規制を短縮したい箇所



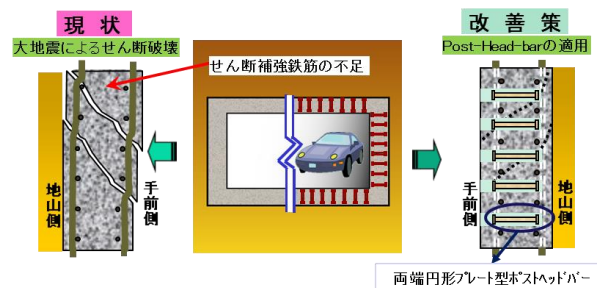
2. 令和元年度準推奨技術

KT-090022-VE

ポストヘッドバー工法

(後施工プレート定着型せん断補強鉄筋を用いた耐震補強工法)

既設鉄筋コンクリート構造物に削孔した孔内に専用モルタルを充填し、プレート定着型せん断補強鉄筋(ポストヘッドバー)を定着する工法。ポストヘッドバーを後施工することにより、部材のせん断耐力だけを向上させることができる。



2019年1月1日現在

対象施設		施工件数
道路・地下街	地下道・道路橋他	34件
浄化センター(ポンプ場舎)	最終沈殿池・ポンプ室他	378件
鉄道	地下駅舎・トンネル部他	10件
浄水場	配水池他	121件
水門	津波対策用防潮水門他	151件
排水機場	排水機場他	31件
排水路	地下排水路他	15件
発電所・プラント	貯水池・水路他	6件

合計：746件 1,242,000本以上
施工中案件を含む

3. 令和元年度準推奨技術

QS-090004-VE

WILL工法(スラリー揺動攪拌工)

(中層混合処理工法)

攪拌装置の先端からスラリー状の固化材を注入しながら、原位置土と固化材を特殊な専用攪拌翼(リボンスクリュー型攪拌翼)を縦回転することにより強制的に攪拌混合し、深度13mまで対応可能な中層混合処理工法である。

また、形状が斜めのリボンスクリュー型攪拌翼を用いた改良土を上下左右に揺さぶるように攪拌混合すること(揺動攪拌)で、所定の強度を有し均一性の高い改良体を構築する。



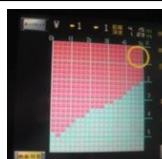
WILL工法改良機



攪拌翼形状



近接施工事例



管理装置表示例

技術概要一覧(2)

4. 令和元年度準推奨技術

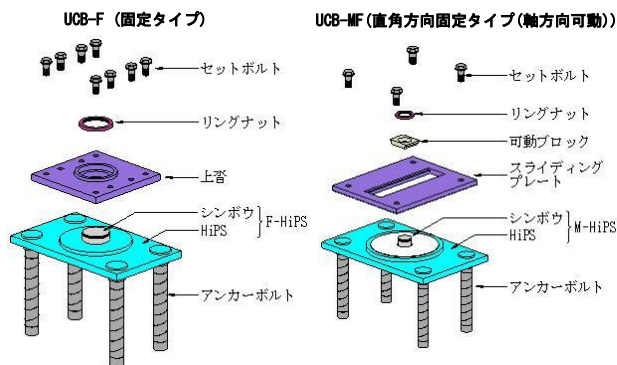
KK-100022-VE

超小型ゴム支承装置(UCB)

(高さの低いゴム支承)

※UCB-M(全方向稼働タイプ)は、準推奨技術に含まない。

本技術は、既設橋梁の耐震補強を目的とした支承交換において、交換前の支承より薄く、シンプルな形状で補強できるため、橋座面を掘り下げる必要がなく、経済性、施工性に富む支承である。



UCBの構造



支承交換前(線支承)



支承交換後(UCB-F)

施工例

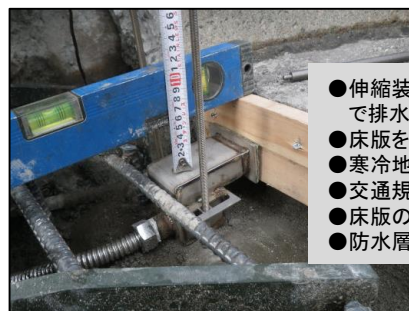
5. 令和元年度準推奨技術

HK-140002-VE

橋梁用埋設型排水柵

(上面+側面集水型「D3(ディースリー)パイプ」、側面集水型「ジョイントドレイン」)

橋梁の床版防水層に滞留する雨水を床版勾配の最下流で排水する為の水抜き用排水柵である。伸縮装置の取換え工事と同時に設置することができ、排水経路は遊間を利用するため床版に削孔する必要がなく短時間で設置可能である。



設置例(高さ確認)

- 伸縮装置の施工範囲内で排水装置を設置可能。
- 床版を削孔しない。
- 寒冷地は凍結膨張対応。
- 交通規制時間の短縮。
- 床版の延命化。
- 防水層の劣化防止。



雨水が滞留している例



導水管設置例

6. 令和元年度準推奨技術

TH-150007-VE

先行床施工式フロア型システム吊足場(クイックデッキ)

(長大なチェーンピッチと無隙間無段差のフロアで快適な作業空間を提供する先行床施工型の安全性の高いシステム型吊足場の技術)

従来型のパイプ式吊足場をシステム化することにより①熟練工でなくても容易に吊足場が構築可能②高強度材の使用により最大吊りチェーンピッチ5m、跳ね出し床最大5mを実現③最大100㎡程度の4点ユニット吊りにより工期と高所作業の削減を実現。

